

新署長さん

（こんにちは

多治見税務署長

よこやまこうじ
横山浩史氏 (57歳)
にインタビュー

インタビュー ●担当副会長 館林 慶二 ●広報委員長 大脇 慶二 ●広報副委員長 松井 啓至

今日は、この7月の定期異動で多治見税務署に着任されました横山署長さんに広報委員会からインタビューに伺いました。

—前任地はどこですか？

前任は、名古屋国税局査察部で査察総括第二課長をしておりました。

—前任地でのお仕事の内容を教えてください。

査察部は皆さんにはあまり縁がないところだと承知しておりますが、通称「マルサ」と呼ばれる部署で、悪質な脱税者を摘発し、検察官へ告発する仕事をしております。

査察制度は、悪質な脱税者に対して刑事責任を追究し、その一罰百戒の効果を通じて、適正・公平な課税の実現と申告納税制度の維持に資することを目的としています。

一般の税務調査が質問検査権に基づく任意調査で

あるのに対し、査察調査は租税犯の摘発を目的とした強制調査で、裁判所から許可状を得て、捜索、差し押えなどを行います。

査察部は、「情報担当」と「調査担当」の2つに分かれているのですが、「情報担当」は、脱税の疑いのある個人や会社の情報を収集し内偵調査等を実施して、脱税の疑いが濃厚になれば、差し押えなどの強制調査をするための許可状を裁判官に請求します。

「調査担当」は、裁判官が発行した許可状に基づいて強制調査に着手し、帳簿など脱税の証拠となる物件を差し押さえて証拠を固め、検察官に告発します。

査察総括二課は、「調査担当」部門の取りまとめを行う部署になります。

—ご出身を教えてください。

出身は静岡県焼津市です。こちらへは単身赴任で来ておまして、普段は名城公園近くの宿舎に住んでいますが、週末は家族のいる焼津で過ごしていません。単身赴任は通算12年になります。

焼津といいますと、港町。まぐろやかつお等の魚の街をイメージされる方が多いと思いますが、私は専業農家に生まれ育ち、両親はトマトを主体とした野菜のハウス栽培農家を営んでおりました。

東濃地区もトマト栽培が盛んで、夏秋トマトの指定産地と聞いておりますが、焼津市とその周辺地域である志太地区は、冬春トマトの指定産地なんですよ。

現在、ビニールハウスは取り壊して水稻と露地野菜の栽培を続けており、田植えや稲刈りといった農繁期には家族総出で農作業をしています。

—東濃地方の印象はどうでしょうか？

やはり、日本でも有数の陶磁器の産地で、「焼き物の街」という印象があります。「美濃焼」に代表されるほか、「タイル」や「洋食器」など「陶磁器産業」「陶磁器文化」で発展してきた地域という印象をもっています。

一昨年の平成29年7月から1年間、岡山県の瀬戸税務署で署長をしていたのですが、瀬戸税務署は「備前焼」で有名な備前市を管轄しておりました。今度は「美濃焼」ということで、「焼き物」つながりで非常に縁を感じています。

瀬戸税務署勤務時は、備前焼祭りにも行ってきましたし、窯元さんを見学したり、「土ひねり」も体験させていただきなど、少しでも「焼き物文化」に触れさせていただきました。釉薬を使わずに焼く「備前焼」に大変魅了されたという経緯がありますので、「美濃焼」にも大変興味を持っており、素晴らしい作品の数々を拝見できることを楽しみにしているところです。

また、大河ドラマ「麒麟がくる」の明智光秀ゆかりの地でもありますね。私は大河ドラマの大ファンで、毎回午後6時からのBS放送と午後8時からの地上波放送の2回、必ず見えています。舞台となっている東濃地区で、大河ドラマ館や光秀ゆかりの場所巡りができることも、楽しみにしていることのひとつです。

—以前、署幹部の方が光秀関連の史跡巡りをされているのをお見掛けしたことがありますよ。また、今回会報誌の表紙には明智城跡大手門を、歴史文化サロンには明智一族と関わりが深い天龍寺を取り上げております。

さて、人生観、座右の銘について、お伺いします。

- 人生観、モットーは、
- ・「やっときゃよかったより、やったけどダメだったの方がよっぽどまし」【NHKインタビューで聞いた宮崎駿さんの言葉】
 - ・「チャレンジ アンド ユーキャンチェンジ（挑戦



すれば変えることはできる)」「どんな時も若者の特権である挑戦する心を忘れず、難局を切り開いていてください」【第88回選抜高校野球大会 開会式での日本高野連八田会長の言葉】

このように、何事もポジティブに捉え、行動しながら考えることをモットーにしています。何かをやりましょうという時に、まず“無理”とか“できない理由”を言うのではなく、60点の出来であっても段々上げていけばいいと思っています。

座右の銘は、「忠恕(ちゅうじょ)」。「忠恕」とは、論語の中の言葉で「自分の良心に忠実であることと、他人に対する思いやりが深いこと」を言います。

これは、瀬戸税務署勤務時に出会った言葉で、備前市に旧閑谷学校という史跡があるのですが、閑谷学校は江戸時代前期に岡山藩主池田光政によって開かれた日本最古の庶民のための学校で、そこでは儒教の講義をしていたということです。

旧閑谷学校を見学に行った際、「忠恕」という言葉に出会い、改めて意味等を調べてみたところ、「自分の良心に忠実であることと、他人に対する思いやりが深いこと」、一言でいうと「仁」ということが判りました。

私事で恐縮ですが、横山家の初代は「仁之蔵」といまして、うちの屋号紋は「サス仁」なので、まさにこの言葉は横山家として大事にしなければならぬと思ひ、座右の銘はと聞かれたら「忠恕」、「自分の良心に忠実で、他人に対する思いやりが深い人になりたい」と、答えています。

—趣味を教えてください。

趣味は「食べ歩き」です。「食べログ」のヘビーユーザーで、名古屋局管内の県をまたいで調査を行う部署での勤務が多かったので、出張先でおいしい店を探すことを楽しみに仕事をしていた部分もありました。普段から行く先々では、先ず「食べログ」で検索するということが癖になっています。

多治見税務署管内は、有名な酒蔵もあり、美味しいものが沢山ありますので、楽しみにしています。



皆さんからも美味しいお店等の情報をお聞かせいただけたらと思っています。「食ベログ」で検索すると、まずうなぎ屋さんが出てきますね。

一 窯焼きなどの肉体労働が過酷だったため、うなぎ屋は多いんですよ。

さて、税務行政の方針についてはどうお考えですか？

国税当局といたしましては、「納税者の自発的な納税義務の履行を適正かつ円滑に実現する」という国税庁の使命を果たすため、納税者サービスの充実と適正・公平な課税・徴収に努めるとともに、組織として、様々な課題に的確に対応していく必要があると考えております。

一方、新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、各種施策の実現に当たっては、納税者の皆様の状況に即した柔軟な対応を心掛けていく必要があります。

このため、納税者の利便性の向上として、確定申告・年末調整手続のデジタル化、納税相談の効率化・高度化、納付手段の多様化・キャッシュレス化や納税証明書発行の電子化・簡便化等、税務署窓口のスマート化に取り組み、的確に対応してまいります。

また、税務行政を行っていく上で一番大事なことは、税務署が皆様に信頼されることかと思えます。

「信頼される税務署」と評価されるためには、適正な事務処理は当然ですが、職員には高度な税務知識というまでもなく、税務職員としての常識、倫理観を持ち続けることによって、皆様からから褒めの言葉をいただけるよう、指導をしていきたいと思っております。

一 法人会に期待されることは？

多治見法人会におかれましては、永きにわたり、常に税に対する良き理解者の団体として、また、良き経営者を目指す団体として、会員の自己啓発を積極的に支援し、納税意識の向上と、企業経営及び社会の健全な発展に寄与してこられ、大変心強い存在

であると考えています。

また、e-Taxの普及拡大にも大きく貢献され、多治見税務署管内の利用率は名古屋国税局管内でも上位に位置しております。これまでも先頭になって取り組んでこられた会長さんをはじめ役員の方々には敬意と感謝を申し上げたいと思います。

「納税者の自発的な納税義務の履行を適正かつ円滑に実現する」という国税庁の使命を果たすためには、法人会の皆様方のお力をお借りしなければ私どもだけでは到底なし得ることはできません。

引き続き、納税知識の高揚や租税教育などの積極的な活動を期待しておりますし、税務署としましても、皆様方と十分に意思疎通を図り、これまで以上に良好な信頼・協調関係を築いていきたいと考えております。

一方、新型コロナウイルス感染症により、規模や業種を問わず多くの事業者の皆様が影響を受けている状況下におきましては、事業者の皆様へ寄り添った対応、特に、中小企業の経営者の不安を解消すべく対応が必要なかなと思っています。国税庁におきましても、感染症及びその蔓延防止のための措置の影響により厳しい状況に置かれている納税者への対応として、「現行法令に基づく期限延長や納付の猶予等を含め、各種の納税緩和措置等が早期に活用されるよう、納税者からの問い合わせや相談を待つだけでなく、周知広報を積極的に行う」こととしております。

法人会の皆様方には、周知広報へのご協力をお願いするとともに、会員の皆様への適切なご指導・ご助言を併せてよろしく申し上げます。

一 最後になりましたが、赴任されて最初のお仕事は、「税金天オクイズ」の“博士”のはずだったのですが(笑)。事業がごとごとく中止になり、今後もどうなるかわからない状況です。これから皆で知恵を出し合ってやっていくこととなりますので、その節はどうぞよろしくお願い致します。

本日はお忙しいところ有難うございました。

